



今年度もお話し会が始まっています

平成24年度より、全児童生徒へ向けてのお話し会を行って7年目になりました。今年度は、4月からスタートしています。

「うさぎ」のみなさんも子どもたちと、どんなお話し会ができるのか、とても楽しみにしています。お話し会を何度も経験している子どもたちは、絵本が開かれるとスーッとお話しの世界に入っていく様子があります。今年度も新しい本との出会いや好きなお話しが増えることを願っています。

「うさぎ」のメンバーは、3名です。公共図書館や文庫などで、本に関わるお仕事をしている方々です。1回のお話し会では2名が来校しています。来校する回数は月に2、3回。内容は、各学習グループに合った絵本や紙芝居、手遊びや、わらべ歌。グループによっては、ブックトーク（テーマを決めて、テーマに合った本を数冊紹介する方法）やアニメーション（本の内容をクイズにして、内容理解を競う）をしています。「うさぎが出てきたよ！」テーマソングとうさぎの「ぬいぐるみ」が登場するとニッコリと笑顔になる子どもたちが増えています。

図書館支援員

本校の図書館・読書環境を整えてくださる図書館支援員の小野寺千秋さん（月に2、3回程度 半日のみ）と江東区立図書館の職員の方が（月に1回 半日のみ）来校しています。

墨東特別支援学校の子どもたちに合う本や調べ学習などを使う資料などの情報提供をしています。



図書館支援員のお仕事とは…

小学部のある学習グループでは、毎朝行っている読み聞かせ用の本をグループの実態に合わせて、数冊の本を教室まで紹介しに来てくださったり、基本的な図書館の使い方を教えてくださったりしています。

教室に持ってきて、いただいた本は何度読んでもおもしろく、しばらくは、教室の人気者です。

江東区立図書館の職員の方は、江東区に所在する学校の子どもたちの読書サービスの向上と、将来、子どもたちが「読書人」となるようにサポートします。また、調べ学習で使うための資料についての相談なども受け付けています。

たくさんの方に活用していただきたいです。

